

広報 ふたば



入所者様に楽しんでいただくためには、まずは職員が楽しむことではないでしょうか？
恥ずかしさ？を忘れ、職務にまい進する双葉苑の職員の姿にもご注目ください



玉入れに興じる入所者様。幼いころの運動会を思い出してくださいませんか？



運動会



ふたばよもやま話 (第七回)

～お糸ヶ池～

国道322号線を田川方面に下ると、田川郡香春町との境の金辺トンネルが見えてきます。少しわかりにくいのですが、トンネル手前、約500メートルのところ、左手にため池の堤防と、土手の上にお墓らしきものが見えてきます。ここは「お糸ヶ池」と言われ、村人が大切にしている聖地なのです。

かつてこの付近は干ばつの度に飢饉となり、農業用水を確保するためにため池を造ることになりました。しかし何度堤防を造っても壊れてしまいます。ある時村人は人柱を立てる話をしますが、誰が人柱になるかいつこうに決まりません。その時、この村に住むお糸さんが自ら名乗り出て、母親の懇願にもかかわらず、人柱となりました。

村人は感謝し、お糸さんを弔う地藏様を建立し、魂は大泉寺で弔われました。今でも里人は旧の地藏盆には盆踊りを行い、お糸さんの遺徳に感謝を忘れていません。



堤防上にはお糸さんの墓が建てられ、近くの呼野公民館前には、お糸地藏も祀られている

職員紹介コーナー
徳重晴美さん、お疲れ様でした！
15年にわたり、入所者様の健康管理を行う医務室の主任として勤務していただいていた徳重さんが今般定年退職されました。



今月の予定 (8月)

石橋医院回診 (毎月曜日)

7日、14日、21日、28日

ますゆき皮膚科回診

3日 (木曜日)

小倉北歯科回診 (毎木曜日)

3日、10日、17日、24日、31日

健康体操 (隔週月曜日)

14日、28日

ビューティヘルパー

16日 (水曜日)

夏祭り

20日 (日曜日)

生花

23日 (水曜日)

苑外ハイク

随時

7月より面会を再開しています。**ご希望の方は事前に連絡**をお願いします

【編集雑記】
▼「お祇園さん」(小倉祇園太鼓)が終わった梅雨明け、と言われるが、今年の梅雨はなかなかしつこいようだ▼入所者様は敏感で、天気のことや毎日気にしている。我々も年齢を重ねるごとに、片頭痛や憂鬱な気持ちが増していくのを実感するが、人生の大先輩である入所者様に少し近づいていっていることが身をもって教えてくれている▼入所者様が現役で働いていた時代、いまのような情報もなく、天候に左右される農作業に従事されていた事だろう。だからこそ天候には人一倍敏感になり、現在に至っているのではなからうか▼なんでもコンピュータが応えてくれる現在、それはそれで確かに便利な世の中になったかもしれない。しかし本来人間の持つ「本能」が薄れていくのではなからうか▼
▼「よもやま話」で紹介しているように、昔は自然や災害に対して人間は無敵だった。雨が降らないと天に祈り、水害も水の神の祟りと恐れられた。また大規模な工事に際して、神に尊い人命を捧げることに伴って、神の無事を祈願した。「人柱伝説」は全国に数多くあり、その多くが旅の僧侶や若い娘である。いずれも「騙されて」「半強制的に人柱となったが、ここお糸さんのように自ら進んで人柱になった例は珍しい▼この仕事にご縁ができて、いつも感じる事は、人間の知恵で克服できたものもあるが、人としての生き方はどんなにコンピュータが発達しても、とつてかわることはできない▼今まで社会を支えて来てくださった大先輩に敬意を禁じ得ないこと、いづれ自分も老いていくことは忘れてはいけません。小さなことも勉強させていたいただける入所者様に感謝と少しばかりの安らぎを提供させていただけるとのだろうか不安の毎日である